



白川風土記
越後之部
蒲原郡

十一

ル 4
317
11





松平越中守殿舊白川領風土記

越後之部

蒲原郡

上五泉町 下五泉町 下條村 次屋村

船越村 田屋村 猿橋村 園田村

安部新村 大園村 下新村 市新村

金屋村 小口村 森曾根村 二柳村

寺沢村 米越村 論瀨村 清瀨村

猿和田村 赤羽下村 尾白村 四屋村

菅山村 大藏村 不動堂村 栖沢村



赤海村 太田村 吉沢村 道金村
 小池村 野中七村 砂子塚村
 計三十六ヶ村

赤海村 太田村 吉沢村 道金村
 小池村 野中七村 砂子塚村
 計三十六ヶ村
 赤海村 太田村 吉沢村 道金村
 小池村 野中七村 砂子塚村
 計三十六ヶ村
 赤海村 太田村 吉沢村 道金村
 小池村 野中七村 砂子塚村
 計三十六ヶ村



白川風土記卷之二十六

越後國之部之十二

蒲原郡 福雄庄 奥山庄 菅名庄 加治郷

郡名ノ起リ来由知リカクニ郡ノ内ニ蒲原村ア

リ延喜式和名抄等ニ見ヘクニ郡ノ内ニ上代ノ

置所ナリト云フ一國中ノ大郡ニシテ形勢山下平

地ト相半ス東ハ奥列南ハ古志郡三嶋郡西ハ海

ニ臨ミ北ハ岩船郡ナリ古越後ニ沼垂郡有リ今

其郡無シ沼垂村ハ郡ノ中ニナリ疑フ所沼垂

郡何處ニ在リ時カ蒲原ニ合フニ蒲原郡ノ内ニ

沼垂村ハ在リト云フ

郡ト成タルナルヘシ白川部内ニ隸スル村落六
十六村アリ凡ソ越后國男女ニ限ラズ言詞ヒフ
ノ違ハアリヤヒトツラフトワフタワ
テ其違ハ少カラス因テハ郡ノ条ニ記セリ或説
ニハ謚信領國ノ時諸民ニ命シタヘ國中ノ合詞
ナリシカ其マ、残リテ今ニイテ習ヒタルナリ
ト云モ理リアルニ似タレハ合セ記シヌ
福雄庄白川庄奥山庄加治古加地庄菅名庄弥彦
庄古加地等ノ庄名東鑑ニミヘリシハ古ヘヨリアヘ
庄名ナリトシ又北越太平記ニ加地安藝守春綱

ハ下越后ヲ領知ニ上校家ヘ属シ代々ノ軍功アリ
先祖ハ宇多源氏佐々木三郎盛綱ヨリ出ワ鎌
倉右大将家ヨリ軍忠ニ依テ越后ノ加地ノ庄ヲ
玉ハハ畧トシヘタリ盛綱ノ事ハ東鑑ニ歴然タ
レハ証トスルニタレリ
加治古加地郷園郷加地ノ郷名和名抄ニミヘリ
レハ古クアリアル郷名ナルトシ然レモ和名抄
ニハ沼垂郡ノ中ニアリ沼垂郡今蒲原郡ニ合シ
リレモハ郷名ハ其マ、存レタハナルトシ園郷
ハ考ハ所ナリ都テ白川部内ニ預ラサハ庄郷ハ

之ヲ除テ論セム

[Faint handwritten text, likely bleed-through or ghosting from the reverse side of the page.]

清見蒲原郡菅名庄

郷名不詳
宮之越

柏崎陣屋
方角丑三
廿四里余

町
上下
分
五泉
其總

八町
下
柳
五泉
人
濫觴
考

辰巳
方
一里
中
同
村
松
領
木
越
村
端

村
門
後
村
生
出
川
水
清
水
門
後
水
下
當

町
方
地
内
有
流
水
早
出
川
上
分
流
下
条
塘
川

輻
湊
之
所
至
五
条
川
五
条
南
一
即
泉

新
町
一
街
指
柳
町
二
若
二
北
方
二
十
九

ト十一具水祁寒大暑ノ時夕ニ涸ル、ト十二ト
是其名、起ル所ト云三国街道ニシテ四至ノ東
ハ吉沃村ハ地録ナリ西ハ二柳村ハ十一丁二十
間地界迄八丁南ハ脚科所今泉村ハ十丁四十間
地界迄九丁北ハ脚科所三本木村ハ九丁余地界
迄八丁四十間開茂ノ年代詳ナリ永徳年間
城主教馬苗氏ト云ク永年間錢駿河守永亨年間天
野東山長祿年間中野立正永正年間矢代氏領又
ト工人ノ説話ニ傳フトト上ト分明ニシカク
ニ其後慶長年間迄ハ上枚家ノ旗下日稻備後守

清長領ト云越后一揆ノ事北越ノ事記々ハ諸
在工門督秀段代々勢別ノ人々ハ久太郎秀治父
ヲ願ヒテト越后ニ在國ノ人々ハ味ヲ思ヒ居住
帝三行一ノ越后ハ上ノ味ハ一ノ國下ト極リ
秀治自林ト越后ハ上ノ味ハ一ノ國下ト極リ
ハリ然ルハ即手遣ト由中表リト語ハ直江方ヨリ
原越后ハ即手遣ト由中表リト語ハ直江方ヨリ
上枚家譜代ノ兵又皆穿人ニテ越后ニ引込ミ在
工筆直江力備役ニ曰ハテ越后ニ引込ミ在
ハ在々所々一國ニ一揆ヲ起シ此相尋三條邊ヲ始
等ハ千ニテ五泉ニ陣ヲ取ルト云々同三成年ヨ
リ村出國防守領元和四年ヨリ堀丹後守領寛
永十九年午ヲ脚科所正保元年ヨリ本多能
登守領慶安二丑年ヨリ松平大和守領万治二亥

ノ年檢地アリテ寛文七末年ヨリ榊原式ノ大輔
領室永元申年ヨリ本多吉十郎領同七寅年ヨリ
又御料所寛保二戌年ヨリ当領ト十八

早出川

当町ヨリ東ノ方五丁四十間斗ニアリ地先六丁
二十間余流ハ川中三十五間斗高船長岡領同郡
新沼湊ハ運送ニ漕迄行程八里水源ハ御料所曰
郡川内谷ヨリ出ク御料所安養寺村ニ阿賀野
川ニ合ズ別内谷ヨリ安養寺村迄水程四里余非
昔身餘堰下ニテ所一

一ノ所ハ村松領矢津村ニテ早出川ヲ堰ク庄之
堰下云当町南ノ田所ニ漕ク水源迄一里余山ノ
所ハ御料所川瀬村ニテ早出川ヲ堰ク下条堰下
云当町東ノ方ニテ五流上ナリテ西ノ田所ニ漕
ク水源迄二十丁余丁十四間斗四間余

本秣場

早出川ノ辺ニ下五泉入谷ニテ川取ル昔ハ空
潤大所ナリトカ近表川内帯上ナリ地錦ハ東西
四十間余南北五十間余

御料所

御免町

南口ヨリ西へ入へ町ナリ長ヨ一丁十二間中二
間二尺家居西側ニ連八戸敷三十五軒

本町通

上町

吉沢村大地鏡ニテ南北一丁二十三間中四間家
居西側ニ連八戸敷四十七軒間屋場東側ニテ
上十五間下五間計ニ連々下十五間中計ニ
テ鍵取東外筈堀村ニ送へ行程一里十丁西へ

新津町へ送へ行程二里南へ村松町へ送へ行程
一里八丁北へ分田町へ送へ行程二里

中町

上町ニ鏡々南北二丁十四間中四間家居西側ニ
連八戸敷十六軒
高札場一ヶ所
官ヨリ令セテハ、控降目ヲ掲ク

郷屋川

街ナリ東ヨリ西へ計ナ中七尺斗首町田所

養水ト十八水源ハ村松領木越村ノ端村門後
清水ヨリ来ハ行程一里斗

位吉橋

御屋川ニ岸長ク二箇中三箇

位吉橋社地東西三一箇社家近藤紀伊

西側ニアリ勸請詳テラ及祭也延五九月廿二

晦日

社小社ナリ

一里ハ免陰地

位吉社地

安勝寺門前小路

上所東側ノ尾ニ東ハ入一町ナリ長ク二十一箇

中二箇三尺家居西側ニ連ル戸敷十軒

安勝寺境内東西四十二箇

東ノ尾ニアリ浄土宗ニテ山号ヲ佛性山院号ヲ

常光院ト云会津領同郡津川町新善光寺ノ末山

ナリナリカニ新田善興亡テ後其臣世良田右馬

助カ嫡男重貞衛按テハニ上板家ノ属臣ニ世良

ニヤ北越ノ事記クハ書ニミテ夕ハ上板家ノ

軍兵ヲ指白途臣昭田里田ヲ攻ルトキ昭田里田

ノ養水ト十八水源ハ村松領木越村ノ端村門後
清水ヨリ来ハ行程一里斗

住吉橋

上川ニ架ス長ク二箇中三箇

住吉橋社地東西三一箇社象近藤紀伊

西側ニアリ勸請詳テラズ祭ハ正五九月廿二

晦日

社 小社ナリ

一里ハ免除地

住吉社地

安勝寺門前小路

上所東側ノ尾ニ東ハ入ル所ナリ長ク二十一箇

中二箇三尺家居西側ニ連ル戸敷十軒

安勝寺 境内東西四十二箇

東ノ尾ニアリ浄土宗ニテ山号ヲ佛性山院号ヲ

常光院ト云会津領同郡津川町新善光寺ノ末山

ナリナリカニ新田善興亡テ後其臣世良田石馬

助カ嫡男重兵衛按云此ニ上板家ノ属臣ニ世良

二ヤ北越ノ事記クハ書ニシテクハ上板家ニ

軍兵ヲ指白途臣昭田里田ヲ攻ルトキ昭田里田

寺ハ蒲系ハ引還レ軍評定ヲ改テ里邊城ニハ
備前寺新山ノ宮ニハ山下又石工門列初ニハ世
良田九在工門ハ乃千其族類十ハカ先君追福ノ為ニ
出家ノ当寺ヲ開基スト云其後明應ニ至テ魚沼
郡青木村ノ領主生江右近剱俊ノ安州ト号又之
中興五世ノ開山ト云
客殿 八間 三尺ニ七間 萱葺本尊阿弥院如來木
佛立像長一尺六寸五ト春日ノ作ト云傳
庫裡 九間 三尺ニ六間 萱葺
鐘樓 二間 三三間 萱葺
辨天堂 二間 三三間 板葺

十五堂 二間 三三間 板葺

免除地

安勝寺

興泉寺門前小路

上町西側ノ尾ニテ西入ハ所ナリ長廿一丁十四
間中三間ニ尺家居兩側ニ連ハ戸敷十八軒

興泉寺

境內東西四十八間
南北五十八間

西ノ尾ニアリ禪宗ニテ山号ヲ竜雲山ト云常陸
國川内郡若宋村金龜寺ノ末山ナリ永享年間寺

竹上云僧十三才ノ時自ら葎起ノ出家トナリ
寺ノ曰郡船越村ニ造立スル云元来上枚頭能寄
附ノ道場ニシテ寺号ニ興隆寺唱ハシカ永祿五戊
年興隆寺五世詠壽ト云僧ニ至テ寺ヲ以地ニ移
シ興泉寺ト改ム
文殿 十二間ニ七間萱葺本尊釈迦如來木佛坐
像長二尺三寸作詳ナリ
庫裡 九間ニ五間萱葺
衆寮 八間ニ三尺ニ六間萱葺
觀音堂 二間三尺四方萱葺本尊行基ノ作縁日

毎月十七日入三門外能ナリ
地藏堂 一間二尺四方萱葺本尊所刻阿彌夫本
釈迦堂 一間四方
權門 二間二尺ニ三間
免除地
興泉寺

馬場小路

中町西側ノ尾ヨリ西へ入ヘ町ナリ上枚家ノ旗
下廿和備後守所領ノ時ハ所ハ馬場トナリ今

町ノ名ト入長丁二十七間巾一間三尺家居
兩側ニ連ハ戶數五十軒

清林寺 境内東西三十間
南北二十五間

西ノ尾ニアリ浄土真宗ニテ山号ヲ栴雲山ト云
京都東本願寺ノ末山ナリ開山ノ年代詳ナラズ
寛永年間加賀国高松ヨリ宗八郎ト云者ニ道場
ニ入り剃髮メ清玄ト号ス具子良智ト云僧ニ至
テ寺号免許アリテ再タニ伽藍ヲ造立スル云
客殿七間三尺八間萱葺本尊阿彌陀如來本
佛之像長二尺三寸作詳ナラズ

庫裡 十間ニ三間萱葺

鐘樓 二間ニ一間二尺萱葺

南裏町

馬場小路西側ノ裏町ニテ中程ヨリ入ハ長サ南
北五十一間巾一間三尺家居兩側ニ連ハ戶數十
七軒

北裏町

馬場小路北側ノ裏町ナリ長サ南北一丁十五間

中二間家居西側ニ連ハ八戸敷三十一軒
白山社社地東西十七間南北十五間 近藤紀伊

西側ニアリ狐津姫命菊利姫命ヲ祭ヘ式内ノ神
社按ニ式内何レノ神社ヲ云ニテ人皇四十四代

元正天皇ノ御宇養元年間泰澄ノ勸請ナリト云

泰澄ハ越前國麻生津ノ産ニテ父ハ安角備一作

ル母ハ伊野氏ナリ夢ニ白玉懷中ニ入ルト見テ

及メリ白鳳十一年ニ誕生ス道昭和尚ノ見テ

藤皮ヲ衣松葉ヲ食ニ修禪年ヲツケ奈良郡國上

山寺ニ留テ擊ツ故ニ縛ス又白山ニ登ルトキ

高野山聖武天皇
元年ノ事ナリ

竹理權現現ストト佛像解ニシコ

鉢

世俗越ノ大徳ト稱セリ平常頭トニ黄金ノ光ヲ

現ストナリ病メハ者具鉢ノ飯ヲ食スハ不瘥

ト云フナリ常ニ鬼神ヲ遣ハシ云神護景雲元

年三月十八日寂ス歳八十六秋五十歳

泰澄曾ニ加州石川郡白山ノ峰ニテ夢ニ天女瓊

珠嚴身ニテ吾ハ越ノ後州蒲原郡宇津良波志ノ

神ナリ願リハ社ヲ造立セヨト云ト見テ覺タリ

リレヨリ雪國来リ除彦ニ籠リ宇津良波志ノ神

ノ鎮座ヲ示シ玉ト祈リトハ又夢ニコレヲ

青海郷ト言々郷ノ界ニ岳山ト云アリ彼山上

ヨリ三十餘丁丑寅ノ方ニ當リテ湖水下リ是其
神ノ御手洗ナリトアリケレハ則チ菅山ヲ尋テ
絶頂ニ登リシカ雲霧朦朧トシ咫尺辨セズハ時
護摩ヲ焚テ祈念セリ故ニ今ハ所ヲ護廣堂山ト
稱スリレヨリ倏忽トシ霧晴レ一ツノ池ヲ見ハ
大ニ欣ニ念誦セシカト彼夢ニミハ所ノ天女爰
ニ現レ吾ハ紀州名草郡日前神五十猛命ノ妹狐
津姫命ナリ汝社ヲ建立シ菊利姫命ヲ相教ニ祭
レト云ニ夫セケリコトニ於テ卷九三未年六月
社造宮成就ノ九月九日遷座アリ寛治年間源美

終

舊考
北能ノ間ノ殿宇
ノ三ノ何ヲ在ルヤ

家東夷征伐ノ時兜及ヒ短刀ヲ納メ社領十貫文
寄附ト天正年間北能登守朱印書替テ兵ノ上
枚景勝ヨリ年々祭祀料ト米五石ヲ奉テ景勝
旗下甘粕備後守本社ヲ再宮ト慶長五年五月
二十八日ノ日禰ニ文書傳記モ烏有トナリテ傳
ハラス神池ノ跡今ハ之ヲ入祭ハ九月九日
本社 一間三尺四方萱葺
拜殿 五間 二間三尺萱葺
鳥居 高廿一丈二尺巾九尺
八幡宮 社地東西三十三間
南北二十八間余 新以買

社家 近藤加賀

西側ニアリ上下両五泉町ノ鎮守ナリ初ノ端村
宮之越之地ニテ人皇五十七代

陽成院ノ御宇之慶二戌年藤原保則出羽國夷賊征

伐ノ時勸諸ナリ其頃近藤修理加賀ノ祖ト云者

社家トナル其後數百年ノ星霜ヲ歴テ宮殿樓閣

廢滅セリ永祿年間甘粕備後守再營ノ領國ノ鎮

護トシ慶長三年上枚景勝封テ奥州ト移ル

備後守ニ奥州白石ヲ移テ後ナリカニ祭事ニ

懈ルカ当城留守居シ彼人豊夢ノ所現ニ其及

近藤加賀
社家

テ其所ヲ社領トシ修覆造営ヲ加テ正保五年八

日十五日遷坐アリニ館ノ内八幡ト追崇スト云

祭ハ八月十五日也

本社 三間 二間 銅瓦葺

呪詞殿 三間 四方板葺

神供所 二間 四方板葺

拜殿 六間 三間板葺

鳥居 高十一丈五尺巾一丈三尺

天満宮 三間 二間板葺

鳥居 高十一丈五尺巾一丈三尺

右社ハ人皇七十七代

後冷泉院ノ御宇康平五年源賴義出羽国厨川次

郎安倍貞任誅伐ノ時常ニ尊敬セラレハ菅家自

作ノ神射ヲ以テ八幡社地ニ勧請アリテ社科本三

貫文ノ朱印寄附ナリトシ天正ノ頃迄ハ北能登

守朱印改メリテ書替ヲ予テ抑以テ神射ハ延喜二

年筑紫ニテ自ラ作り玉フ所ト云文書ハ社家
加賀所藏ス

朱印書替文書

今度社領札

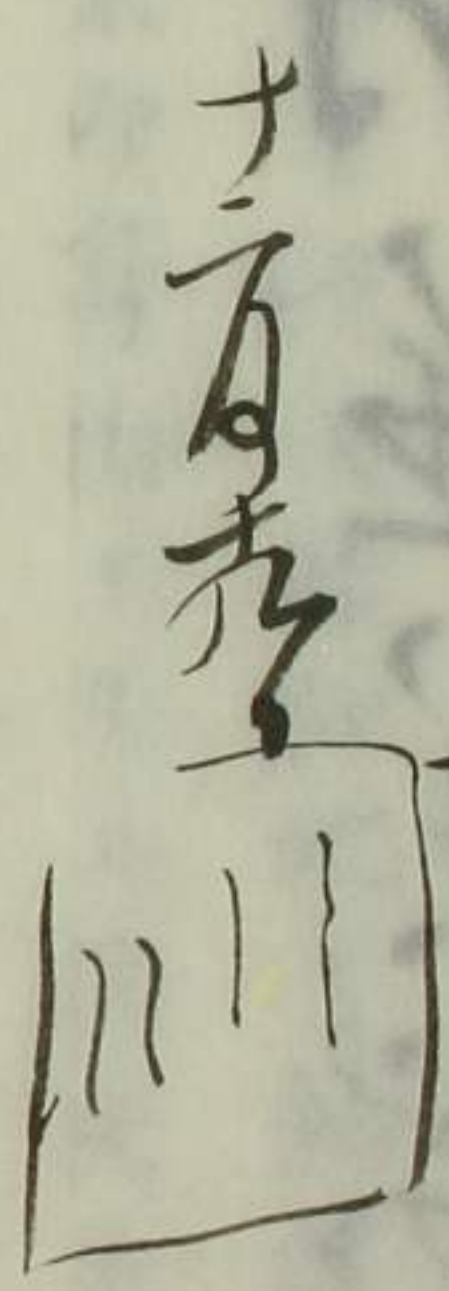
御政如之由事

不め承之由事

付金ノ事心ノ事

舊白大、形大、宇
似、天正八年庚
寅、リ、産カ、エ、マ、

天正六年庚申能成寺



寺之

天正之別当

[Faint background text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

白山城百観音菴 境内東西二十六間 南北十八間

西側ニアリ禪宗ニテ山号ヲ補陀山ト云御料所

草水村観音寺ノ末山ナリ観音寺二十世文壽ト

云僧当所ニ閑居ヲ建ハ所ニ菴ナリ其後大破ニ

及ヒシカ安永元辰年千牛ト云僧再ニ造立ス寛

政年間ニ至ニ倍造営ヲ加フ

客殿五間ニ三間萱葺本尊釈迦如来木佛坐像

長一尺三寸行基ノ作前立百観音作詳ナク

庫裡六間ニ五間萱葺

今、賤館ノ跡、城址ナク、跡東西三十三間南北

首白録子系

今ノ鎮守八幡ノ社地ナリ壩東西三十三間南北二十八間餘初メ鎮守ノ城主ハ詳ナラズ永徳年間敷馬応永年間錢駿河守其後天野東山中野玄正矢代氏ナトヲ經テ後上牧家ノ支城ニメ甘粕備後守清長居住ス慶長三年景勝封ヲ移シテヨリ村上周防守領中ノ持館ナリシカ元和四年ヨリ堀丹後守領ノ館トナシ正保五年封疆湮墟ヲ平定テ八幡社地トナシ
西側ニ免除地ニテハ前山ノ三階採石
白山社百騎八幡宮
天満宮
近藤加賀屋敷

蒲原郡菅名庄 農夫 久兵衛

久兵衛ハ其質素ニシテ貧困ナル者ヲ克救ヘリ是カ為ニ平常米ヲ貯ヘ置ニテテ勢シメ米價高キ時ハ其回ハ米ヲ時ノ價ヨリ安ク賣ラシム其カ所可ナラズト云フナリハ奇特ノ聞ハアリ苗字帯カヲ許シシト時ニ寛政十二申年十二月十日

土産物

茶 生絲 大豆 東大豆ト稱メ上品トス

茶

端村

宮之越

五泉町ヨリ南ノ方十六丁ニアリ八幡ノ舊地ナ
 レハ山所ノ名トス東西一丁五十三間南北三十
 八間戸數六軒家ノ向脊ヒトヒカウニ
 其氏ニ宗廟本是設ケ置ニ「ト」替「ト」米賣高ト
 又其間ニ其賣表ニヒ貧困ト山草ト草株「ト」具
 白山社「ト」八幡宮「ト」天満宮「ト」農夫「ト」入其邊屋敷

蒲原郡管名庄

吉沢 口上 三丁 三丁 間 亦 三丁 間 西 尺
 家 居 下 五 泉 町 村 並 端 中 野 村 三 丁 間 入 水 井

柏崎陣屋ヨリ方角丑ニ当ヘ行程二十四里余四
 至ハ東ハ吉沢村「ト」町境ニテ地界迄六丁三間西
 ハ二柳村「ト」十三丁二十七間地界迄八丁南ハ脚
 料所今泉村「ト」十三丁余地界迄十丁二十間北ハ
 脚料所三本木村「ト」八丁四十六間地界迄二丁町
 ハ起リ領主ノ次第總テ上五泉町ニヒトヒケレ
 ハ多ニ替セズ町ノ小名五所アリ
 田 畠 早 出 川 間 余 三 丁 三 丁 間 長 山 八 尺

町端ヨリ二十間余ニ流ハ巾三十五間斗川ノ次
第八上五泉町ノ条ニ詳ナリハ爰ニ略ス

堰ニヶ所

宇出川ノ堰リ庄之堰下条堰ナリ東西南ノ田所
ニ漑リ既ニ上五泉町堰ノ条ニ詳ナリハ此ノ田所
ニ二林ノ場ニ下二十ノ田所ニ八ノ南ノ田
正五泉町林場ノ条ニ詳ナリハ此ノ田所ニ下三ノ田
林ノ軒ニ下ニ下前田ニ下ニ下跡ニ下四里余ニ

本道立泉田林

蘇中瀬町

日一

吉沢村ノ地続きニ東西三ノ十間巾三ノ四尺
家居西側ニ連ハ戸敷三ノ九軒巾三ノ四尺又表

下町

中所ニ続ク長巾二ノ十八間二尺巾三ノ四尺家
居西側ニ連ハ戸敷百六軒間屋東側ニ下上
五日ハ下所ニ下継リ下十五日ハ上五泉ニ下
リ四至ハ上五泉上町ニ下トシ下町ノ西ノ尾ニ
作場道アリ巾六尺

井堰

川東側ノ尾ニ東ヨリ西へ流ル中七尺養水川也
水源ハ一里余村松領木越村端村門後清水ヨリ
キタへ

下所橋

街上ニ流ルハ川ニ架ス長サ二間中口ニ掛磔ノ
時ハ領主ヨリ用鉄ヲ年々是ヨリ下ノ橋ニ白口ニ

新町

下町ニ繞リ長サ五十四間四尺中三間四尺家居
西側ニ連ル戸敷五十二軒東側ニ作塙道同也中

六尺

中橋川ニ架ス長サ三間中二間

東側ノ尾ニ東ヨリ西へ流ルハ惣水川ナリ中二
間ニ架ス長サ三間中二間

中橋

中橋川ニ架ス長サ三間中二間

指柳町

新町ニ繞リ長サ二丁二十間中三間四尺家居西
側ニ連ル戸敷百十五軒是ヨリ北三十間斗ニ休

本柳ト云古木ノ柳アリ村里同茂ノ時ハ木ヲ表
木トス故ニ此所ニ名ワク南側ニ役屋鋪ヲ置キ
西側中程ニ端村中野ヘ至ヘ道アリ巾一間一尺
又西ノ尾ニ作塙道アリ巾六尺

伊勢之川

東側ノ尾ニ東ヨリ西ヘ流ヘ下至江通養水川也
巾二間

桔柳橋

伊勢之川ニ架ス長キ三間巾二尺三間四尺亦居

郷藏所

敷地東西四十四間
南北十三間

當町役屋鋪ノ北ニ是ノ上下西五泉所ニ納茶ヲ
計リ收メ所也藏二棟アリ

藏 四間ニ十四間三尺

藏 四間ニ五間

稻荷社

社地東西四十四間
南北十五間

社家

上泉町

近藤紀伊

役屋敷ノ北ニアリ初メ何ノ所ニ勧請アリシ

ニヤ寛保三亥年ハ所ヘ移スト云等ハ二月初午

社 一間三尺ニ一間

鳥居 高可八尺巾六尺

免除地
郷藏所敷地
稻荷社

八幡小路

下町中程ヨリ西へ入へ所ナリ長サ二十五間中
三間家居西側ニ列ス戸敷三十軒

蘇 端岡村 十二間三入

五泉町ヨリ西大方十丁四十四間 三原村末西ニ丁

三十八間南北ニ丁四十一間家居トトシカラス
戸敷十一軒

八幡宮 社地東西十間
南北十一間

近藤加賀 上五泉町

村ヨリ巳ノ方西丁斗ニアリ勸請詳ナリ人等ハ
定マシル日ナシ
社ニ社也

白川風土記卷之二十七

越後國之部之十三
蒲原郡菅名庄

菅名不詳
下條村
柏崎陣屋ヨリ丑ノ方二十四里余ニアリ東西四丁三十間余南北一丁斗家ノ向脊均シカラス戸數三十三軒四至ハ東ハ御料所桑山村ハ十丁斗

白川風土記卷之二十七
越後國之部之十三
蒲原郡菅名庄
菅名不詳
下條村
柏崎陣屋ヨリ丑ノ方二十四里余ニアリ東西四丁三十間余南北一丁斗家ノ向脊均シカラス戸數三十三軒四至ハ東ハ御料所桑山村ハ十丁斗
西ハ早出川有テ自他ノ村落地所入交ラ地界分明ナリ西ハ船越村ハ二丁斗南ハ御料所三本木村ハ五丁斗地界迄十八間北ハ次屋村ハ十

二丁斗地界迄九丁斗間慶人年代詳ナリ入往古
ハ小舟村ト云レカ上枚家人旗下下条駿河守ト
ノ記ニハ采女トアリ駿河守初ノノ名ナリシニ
ヤ上枚家奥州会津ノ所替ノ時ハ二本松城ニ置
ルハ書ニハナリ事記居住セシヨリ下条ト改シト
云慶長三戌年上枚景勝奥州会津ニ移リテヨリ
村上周防守領トナレ元和四年ヨリ堀丹後守
領ト十九年ヨリ御科所正保元年ヨリ本多能
登守領慶安三年ヨリ松平大和守領寛文七未
年色外榊原式部大輔領宝永元年ヨリ本多吉
十郎領田七寛延二年御科所正徳元卯年ヨリ

当領トナレ享和元年ノ水災ニ災禍ト傳置ナレ水
高札場一ヶ所ノ村ノ東端ニアリ田圃ト水田
實田ト令セテ米ノ提條目ヲ掲メ御取立ノ下
村外東二丁三十間斗ニアリ一川僅ニ雨降ト云
味モ忍々出水スハ故ニ早出川ノ名ワリ川中三
十間斗既ニ五泉町ノ茶ニミハタリ
塩井
村ノ内字塩沢ト云所ノ圃中ニアリ方六七尺斗
ニテ冷水ノ湧出ヘ所ナリ其味甚鹹シ

橋大所
共ニ板橋ニテ養水下条江筋及ニ分水江ニ架ス
長廿二回斗巾一回斗ニメ少シク長短アル
下条江

村東ノ方ニアリ水源ハ二里十八丁斗南村松領
門後村ニ清水湧出テ四時其ニ涸ル、丁ナシ
水ヲ門後村ヨリ引テ金屋村田端村堤池ニ潑リ
真田四里斗下条江筋ト名リテ江筋埋ハ田下
条江組二十回丁村ニ命テ江渡ノ田所ノ養水壑
塞ムハ丁ナシル水源ニ薬師ヲ安置入ル水

酒ナル下ハ薬師ノ加護ニヨルト云傳テサレハ
江組ノ村々奉テ尊敬ト云ル縁ニテ其ノ長
堰

細詳

御料所五十畝新田地先早出川上江口ト云処ニ
杭ヲ打テ別テ出シ右江頭二十四丁村ニ養水ヲ
引山川ニテ沙石多クレハ洪水度毎ニ堰ヲ流ス
日ハ二丁斗ノ江筋砂入トナリテ水乏ナルコト
多シ因テ下条江ヲ以テ第一ノ養水トス端村西
山外ハ二丁ノ江筋ヲ以テ第二ノ養水トス
里塚

村ノ東往還ノ傍ニアリ同國若船郡村上ヨリ蒲
原郡村北ノ街道ナリ南ハ寺沢村北ハ屋屋村
ニアヘル一里塚ニ相對スル也

郷藏所

村ノ内ニアリ当村及ハ船越田屋様橋次屋下新
本部新市新金屋田大園小口ト十二ヶ村ノ收
納米ヲ斗ニ入ルル藏ノ修理ハ組合村々ノ費用
ヲ以テス斗ノ七間三尺三間五尺ハ藏ニ今年貢メ斗
ノ依テ作ル集積ノ水賣場ニ集積ノ新置ノ水

詰藏 六間ニ三間五尺ハ藏ニ今年貢メ斗

中門 三間四方

神明宮 社地東西廿二間南北四間 社家 御料所今泉村 依之藤苑前

村ノ内ニアリ 諏訪相殿ナリ神明ハ祭日毎月朔

日十五日二十八日諏訪ハ祭日七月二十七日社

家苑前年々七月二十六日奉幣スト云則チ当村

ノ鎮守也

本社 二間ニ一間三尺壹寸

拜殿 二間ニ三間壹寸

鳥居 高止一丈二尺巾一丈

十二社社地東西三

御科所今泉村
佐藤筑前

村ノ西四十間斗ニアリ 祭ハ毎月九日廿日

社小社ナリ

林祥寺境内東西二間

村ノ内ニアリ 開基ハ宝永二年 村長林室郎左工

門ナリ者先社菩提ノ力ニ相列ニ祇郎十日辰巳

太寺ノ邊ナリ 五僧ヲ招テ小庵ヲ建テ住シハ林

解庵ト云シカ 後故有テ林祥寺ト云一院ナリ

禪宗ニテ則相列紀

太寺ノ末山ナリ

本堂 七間ニ四間萱葺本尊阿弥陀如来本佛立

像長一尺七寸

庫裡 五間ニ三間萱葺

館跡

村ノ内ニテ今農夫善左工門屋敷ナリ 上林家ノ

旗下下茶駿河守土人ノ説ニハ朱女ト云ノ居住

セシ処ナリ 慶長三戌年景勝奥州会津ニ移リシ

時駿河守ハ二本松ノ城ニ居ラシト云

其武ハ林十郎右工門

其先ハ詳ナラス元ハ川北ナリテテ故アリテ母
方ノ林ヲ名乗リテ後宇籠ニテ此地ニ来リ住ス
ト云織田家ノ文書ヲ所獲ス
織田信長之書

朱下

如多由約上野分長班

之家督仕着申

成里一呼之家老

速判早速致調處

梅本下七名之在陣防以

其許致为信一知名

以才和因能方有人

相添与邊村台百中

其先
付之台於滋江中

海之方也

永祿十二已

自以織田信長



此乃其原

同人書

朱下

國司一額切腹之事

流川之原其居谷語中

付交其書於坊者也

免陸地

法如遠近之人不殘為
逐切於今度定修集
若如不靜守則乃魂
之發老亦分別子可
已好也

三三三

有古德因信長

前同印

川古古為反

保海免除地

五十二
重抄卷之七
五十一
重抄卷之六

郷藏所

産物

鮭 此鮭ヲ捕ハ場所ヲ鮭瀧ト云早出川ノ下ニ
 藤原瀧上諏訪瀧間之新瀧下諏訪瀧ト云ハ四
 ケ処ニテ年々運上ヲ出ノ猶ス其漁獲ニアワカ
 ル村落ハ当村及ニ次屋論瀨清瀨太田ノ五ヶ村
 ト他ノ村落ヲ合テ三十四ヶ村ニテ捕ハ又阿賀
 野川ニテ鮭瀧十ヶ所アリ松ヶ鼻瀧、草水山下小
 流瀧、小瀬瀧、大瀧場、園瀧、ホツカシバ、新保瀧、海光
 瀧、高山瀧、打切瀧ト云、阿賀野川ハ当村ニ出カレ
 トモ其漁獲ノ村組ハ本文

舊唐瀧ノ子

舊唐人知堂産物
 越后國産鮭ノ名
 以類アリ生鮭ニ云
 也ノ合ニ云々

村落ノ同シキハ東鑑ニ建久五年ニ
 月廿日上下ノ佐リ、木三郎盛綱進出鮭鮭越后
 国所領土産云々殊脚自愛云々一者被施于只今
 祇候輩云々トアレハ昔ヨリテ国ニテ鮭モトシ
 味モ美ナリシニヤ盛綱ノ領セシハ下越後蒲原
 郡加地庄タハ下東鑑ニ見ハタレ氏何レノ川ニ
 行獲タラシモ存ナラサレト後考ノタトニモト
 計ニ記シテ

篇 村

新藏米升

本村ノ地續ニテ東西一丁斗南北三十間斗戸數

七軒屋蓋ヒトシカラス

十二社社地東北二間

社家御科所三本木村 青木長門

村ヨリ亥ノ方二丁斗ニアリ祭ハ七月廿六日

社小社也

本村ノ西十四丁余ニアリ東西二十間斗南北三十間斗戸數三軒本村ノ間斗船越村猿橋村ノ

御科所三本木村
御科所三本木村
御科所三本木村
御科所三本木村

地有テ又能代川ヲ隔シ飛地也

蟹沢溜

村ノ南ニテ地續ニアリ東西二十四間斗南北十間斗

沢田溜

村ノ西ニテ地續ニアリ東西二十間斗南北十四間斗右ニテ所ノ溜ヲ以テ西山田所ノ養水トス

草生山

村ノ西ニアリ地元ハ本村ニテ船越田屋猿橋ト四丁村入會ノ秣場トス

四丁村入道村 林部十人
本村西地境より東に本村より南に
七軒集落あり
向本より西に地境あり
林より西に地境あり
注 小次屋村
向本
林より南に地境あり
本村より南に地境あり
東西二十丁間長南北十
本村より南に地境あり
東西二十丁間長南北三
東西二十丁間長南北三
東西二十丁間長南北三
東西二十丁間長南北三

蒲原郡管名庄由上より下迄

小次屋村 東西二十丁間長南北三
柏崎陣屋ヨリ丑の方二丁四里十八町余三
東西二十丁間長南北三
向本 東西二十丁間長南北三
所一丁村へ十一丁斗西の岡田村へ九丁斗南
八下条村へ十二丁斗北の脚料所羽下村へ地境
十丁四境共三の地界の地所入文を分明にす元
和七百年の岡本三郎素堀丹後守領上云是日
丹後領主小次屋下条村候白口寛文年間神原家

領以時迄ハ村也ヲ次助郷屋日云云ハ時迄
次屋日改メレト云下条村ト曰レリ村上ヨリ相
松ハハ街道也

早出川
村ノ東三十五間斗ニ流ル既ニ諸村ニ見エ

橋七ヶ所
五泉道橋下条江分流ニ架ス長ク一間三尺巾一

間又同流ニ架ス橋四ヶ所也其ノ長短ハ粗同
シニ少ク異ナリ又下条江ニ架スハ橋ニヶ所

共ニ長ク二間一尺巾五尺以上皆板橋也

下条江

村ノ内ヲ流ル下条村ニ詳ナリハ江ヲ分流ノ田
所ノ養水トス村ノ東端ニ流ルハ細流是也

神明宮

社地東西八間
南北九間

村支配

村ノ東端ニアリ村ノ鎮守ニテ勸清詳ナリト羊
々五泉所ノ社家近藤加賀来ニ奉幣ス日ハ迄リ

十ニ祭ハ毎月神望及ヒ二十八日
社三間ニ二間置葺神躰木ニテ立像長一尺

鳥居高十尺幅七尺五寸
社地四間
社東稻荷社
社地四間
三尺四方

村ノ東方三丁神明^{三ノ}隣ノ勸請詳十丁奉幣
月事八前ニ曰シ祭ハ毎日二十三日ト二月初午
ノ日也

社ノ一間四方萱茸

産物
鮭 鮭楯鮭滝ノ事既下条村請詳
...

林 蒲原郡菅名庄

菅名庄 船越村

柏崎陣屋ヨリ丑ノ方二十四里十八丁斗ニアリ
東西七十二丁間斗南北二丁斗戸數三十九軒
家ノ向脊或ハ聯リ或ハ脊ケリ四至ハ東ハ柳科
所一本枚村ハ十二丁斗地界迄六丁斗西ハ猿橋
村ハ四丁斗地界ハ地所入交分明十丁ハ南ハ柳
科所三本木村ハ六丁斗地界迄四十間斗北ハ
大関村ハ十五丁斗地界迄一丁二十間余田茂ノ
年代詳十丁ハ慶長已後領主ノ次第下条村ニ曰

高札場一ヶ所 村ノ中程ニアリ
官ヨリ令セシメ、控除目ヲ掲リ
橋五ヶ所

一ヶ所ハ下条江ニ架テ字甚テ郎屋ト云長カ
二間三尺中六尺又同流分水ニ三ヶ所長ニ長カ
二間中五尺又一ヶ所長ニ一間四尺中四尺
下条江分水ニ二十四里十八丁長ニ
養水ハ下条江分流水ヲ控テ村ノ田所ニ漑リ下条
村ニ議有リ

熊野社 社地東西八間南北六間 別当 宝行院

村ノ中ニテアリ 鎮守ナリ 勸請詳ナリ 又年々
七月二十日奉幣アリ 祭ハ毎月八日

社四間ニ二間量算
神明宮 撰社ナリ 一間三尺四方量算奉幣前ニ
曰シ祭ハ月ノ朔望及ヒニ八日

十二社 社地東西六間南北五間 村支配

村ヨリ南ノ方ニ丁五十間斗ニアリ 勸請詳ナリ
ハ毎年七月二十日卯科所三本木村社家青本
長岡表ニ奉幣ス 祭ハ毎月九日ニ 上三社

其二五七年第一度の大祭なり日ハ之十三日
社小社ナリ

稻荷社 社地東西十四間南北五間 村支配

村ヨリ西ノ方三丁四十間余ニアリ初清淨ナラ
奉幣ハ五泉町ノ近藤加賀ナリ奉幣ノ日大祭
ノ事ハ前社ニ同じ祭ハ毎月二十三日二月朔午

社小社ナリ 奉幣ノ日大祭

觀音堂 境內四方 村長官即長官持

村ノ内ニテアリ 安置ノ年代詳無 縁日正月

七月廿二十七日ナリ困憐ナリ奉幣ノ日大祭

堂四間四方萱葺本尊銅佛立像長ハ八寸行基

ノ依キテ奉幣ノ日大祭

宝行院 境內東西十間南北十七間

鎮守ノ社地ニ並テ北ノ方ニアリ本山派天台宗

修驗ニテ京都若王子ノ末山ナリ開基ノ祖ハ承

應二巳年若王子ノ袈裟下レナリ任官ハ宝行院

ト号ス往古ハ何レノ所ニ居住セリヤ當村松平

大和守領ノ時ト処ニ移ル云

院家一五間主天竺二間三尺本尊不動本佛立像

長六尺五寸 作詳十(六)尺 其良不種 六之丞

六之丞ハ貞心ニシ母ハ孝養ナリシカ貧窮ニ通
リ同郷ノ豪農ノ僕トナリ其價ヲ以テ母ヲ養フ
ハ即トナシ山野ニ出テ耕シ餉ヲ取テハ必ク母
ハ傍ニ在テニシテ慰メ眾ニエリシ精カカ尽
シ奉仕ノタラシクハ補フ主人是ヲ憐ニ自ラ飯
ヲ分チ茶ヲ汲テ其樂ニ与エシムカク奉仕スル
可既ニ七年母病ニ罹リ雖ハ僕外ハ不ク餘
孝養且ニ厚シ然レモ困窮ナレハ農事怠ルテ十

母後樂

ク山野ニ出テ耕シ耘ヘ時々帰省スルナリ日ニ兩
三度夏ハ涼地ヲハカリテ居ラシメ冬ハ寒ノ徹
ラシトテ怖レテ自ラ飢ヲ以テ是ヲ煖ムスヘテ
母ノ心ニ違ハサルノ聞ハアリテ褒賞ヲ与フ時
至曆五乙亥年二月也

山ノ下ニ居テ耕シ耘ヘ時々帰省スルナリ日ニ兩
三度夏ハ涼地ヲハカリテ居ラシメ冬ハ寒ノ徹
ラシトテ怖レテ自ラ飢ヲ以テ是ヲ煖ムスヘテ
母ノ心ニ違ハサルノ聞ハアリテ褒賞ヲ与フ時
至曆五乙亥年二月也

長治一入山千... 田屋村... 柏崎陣屋ヨリ丑ノ方二十四里余ニアリ東西一
丁斗南北三十間斗戸敷七軒家ノ向脊均シカラ
下四至ハ東ハ早出川一丁斗地界迄四十間斗
西ハ船越村一丁斗地界迄一丁四十間斗南ハ下
茶村一丁斗地界迄一丁四十間斗北ハ岡田村
一丁斗地界迄四丁元和九年堀丹後守領ノ
時開発ノ事云々トナリ後領主ノ次弟下茶村ニ曰シ
共ニ茶橋ノ一丁斗所ニ...

蒲原郡菅名庄 同上

田屋村

柏崎陣屋ヨリ丑ノ方二十四里余ニアリ東西一
丁斗南北三十間斗戸敷七軒家ノ向脊均シカラ
下四至ハ東ハ早出川一丁斗地界迄四十間斗
西ハ船越村一丁斗地界迄一丁四十間斗南ハ下
茶村一丁斗地界迄一丁四十間斗北ハ岡田村
一丁斗地界迄四丁元和九年堀丹後守領ノ
時開発ノ事云々トナリ後領主ノ次弟下茶村ニ曰シ
共ニ茶橋ノ一丁斗所ニ...

共ニ養水 下条江分水ニ架ス長十八尺巾四尺

下条村 下条江分水

下条村 下条江ヨ当村ニ分流ノ田所ニ激リ

岩宮社 社地東西七間 南北二間 村支配

村ノ北世間斗ニ下リ村ノ鎮守ニ九年七月廿

六日所科所三本木村社家青木長門奉幣ヲ祭ル

三月廿八日五七年ニ一度大祭アリ

所科所三本木村社家青木長門奉幣ヲ祭ル

田屋林

蘆原郡菅野庄

野ハ蒲原郡菅野庄 西世四丁林ノ月廿日同ノ

身次ハ猿橋村 林ノ西世四丁林ノ月廿日同ノ

柏崎陣屋ヨリ丑ノ方二十四里余ニアテ東西十

六間南北三十間斗尺敷二軒四至ハ東ハ船越村

八四丁斗地界迄九間西ハ御科所山崎村ハ三丁

斗地界迄二十間斗能代川ヲ隔テ南ハ五泉端村

中野ハ四丁斗北ハ大園村ハ十五丁斗南北斗地

界ハ地所入交ニ迄カナリノ間茂人年成並ニ領

主ノ次亦ハ田屋村ニ同セ候様候事ニ略ス

林ノ西能代川十間斗能代川ノ西世四丁林

村ノ西三四丁十間斗流中十三四間斗水源ハ村
 松領戸倉村山中ヨリ出ハ脚料所能代村古城跡
 傍ヲ流ル故ニ名ワリ流末ハ新茂田領新島村
 二丁小阿賀川ニ合ス其処ノ字三口ト云水程六
 里余
 川水ニコリテ赤山三丁ノ意クハ計ノ如
 二丁油井ノ様全リ特生水ノ油井ニホト
 三丁地故
 能代川ニ架テ板橋也長ナ十五間巾九尺橋ノ修
 理ハ下条船廻田屋当村四丁村ノ氏力ヲ同ス

下条江助

養水ハ下条江筋ノ脚料所三本木村ニテ分流シ
 当村ノ田所ニナリ
 稻荷社社地三
同四方 村支配
 村ヨリ南ノ方四十間斗ニアリ鎮守ナリ勸清詳
 十丁二年々二月初午ノ日船廻村ノ修験堂行院
 奉リテ奉幣又祭ハ二十三日五七年ニ一度ハ
 湯立祭礼アリ日ハ三丁ノ人

御所前御所村ノ古丁ノ地ハ市街村地所ニ
 御所前御所村ノ古丁ノ地ハ市街村地所ニ

村ノ西に四丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ東に三丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ南に三丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ北に三丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ西に三丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ東に三丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ南に三丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ北に三丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ西に三丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ東に三丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ南に三丁十間斗流布十五間斗流布
村ノ北に三丁十間斗流布十五間斗流布

休米蒲原郡菅若庄 西に米田 北に米田 南に米田 東に米田

岡田村 北端 上郷屋

柏崎陣屋ヨリ丑ノ方廿四里十八丁余ニ下リ東

西屯丁三十間斗南北三丁三十間余戸敷四十九

軒家ノ向脊均シカラシ四至ハ東ハ下新村ハ八

丁斗地界ハ次屋村ノ地処マテ一丁余西ハ大

岡村ハ四丁斗地界迄一丁廿間斗南ハ下新村ハ

十三丁斗地界ハ村ノ地所入交分明ナリ北ハ

御科所飯柳村ハ廿丁斗地界ハ市新村地所迄ハ

丁斗寬永六己年ノ岡茂ニモテ其代ハ村ノ高

頁

田新田云云云云慶安二年... 領主... 次...
 下条村... 橋二ヶ所... 架又長廿...
 共ニ板橋ニ村内養水 downstream 江分派ニ架又長廿...
 六尺巾三尺六寸又悪水堀ニ架又長廿二箇巾六...
 尺... 大... 三... 間全... 四...
 村ノ南端ニ架又長廿... 八... 東...
 園田江... 土... 架又長廿...
 村ノ東端ニ架又長廿... 下条江ノ分水ニ... 当村

ノ養水也

本村ニ神明宮社地東西十間南北七間三尺 村支配
 村之内ニあり勸請詳ナリ毎年春秋ノ内一度
 御科所今泉村ノ社人佐藤鼠前奉幣ス祭ハ
 毎月朔日十五日二十日ニ行フ社三箇二間
 善積寺境内東西二十間南北七十間
 村ノ内ニあり園基ハ信濃國ノ産ニテ充井充信
 リ云者親鸞ニ隨从シ法躰ニテ自ら云ク采唄
 席ト云采唄房ニ三人ノ男子アリ一ハ当國和納
 村ニ一宇ヲ建立ス願善寺ト云二ハ同國結村ニ

一寺ヲ建テ法嚴寺ト云三八則善積寺ナリ寛文
三ノ卯年ノ開基ニシテ光井山ト号ス洋土真宗ニ
テ末本願寺ノ末山ナリ親鸞ノ弘長二年ニ寂セ
シ崇願房ノ子寛文年間寺ヲ開基マシト云テ疑
ハシム長イ寛文ノ年ヲナシトシテ三百十年年ナリ
傳ハテ誤ルナキ
本堂九間三尺ニ九間萱葺キ尊阿弥陀如来本
佛立像長二尺作詳ナラズ
庫裡七間三尺ニ四間萱葺キ
椽即宮南大十間三ノ入 林支頂
村東三ノ下 本江ノ分水ニシテ当村

浦上郷屋

本村ヨリ南ノ方二丁余ニアリ戸敷十二軒家並
七トシカウニ村大ヲ東西二十八丁斗南北二丁
三十間余南北三十八間家並均シクアリ戸敷

板橋

村ノ内ニ急水堰ニ架ス長廿六尺巾四尺五寸

判所ノ縁村ノ内ノ寛文ノ時ニ三丁斗ナリ下
新村ノ東ニテナリ新村ノ下村ノ三丁斗北
以テ判所ノ縁村ノ三丁斗斗地界ハ川ノ下

一寺一建一法殿寺殿云三八列並繪巻物也
 三寺御幸の御座りし是也云々
 寺東に御座りし是也云々
 寺西に御座りし是也云々
 寺南に御座りし是也云々
 寺北に御座りし是也云々
 寺東に御座りし是也云々
 寺西に御座りし是也云々
 寺南に御座りし是也云々
 寺北に御座りし是也云々

蒲原郡菅名庄 同上

海部安部新村

柏崎陣屋ヨリ西ノ方二十四里十八丁余ニアリ
 東西十八間南北二十六間家居均シカラズ戸數
 四軒当村東ノ方ニ阿賀野川流ハ近年洪水度毎
 ニ地内川欠トナリ今終ニ飛地ノニ存在ス因テ
 家居ハ下新次屋西村ニ入交レリ西至ハ東ハ御
 科所ノ浮村ハ阿賀野川ヲ隔テ三十丁計西ハ下
 新村ハ永続ナリ南ハ御科所羽下村ハ二十丁計北
 ハ御科所新御屋村ハ十三丁計地畧ハ川欠トナリ

川引地所迄カ土上ノ寛永六巳年堀丹後守領ノ
時開葎ニト云已後領主ノ次子下条村ニ曰ク

阿賀野川

村東ニ流ハ水降ハ上列奥列ノ界ト瀬峠ト禁ヨ
リ赤ハ同郡万貫寺村ト上ニテ東西ト分派ト西
ハ酒屋村ニテ信濃川ニ合ス東ハ松ヶ崎村ト往
テ新澤海河落ト常ニハ巾五寸同余ヲ下ル
洪水時ハ地衝ト九寸ニ極ル此ト今ハ家屋
ノ際迄ハ雨ノ降ルト

養水ハ下条江ノ末流ヲ引テ当村田所ニ漑リ水

源ハ下条村ニ見ユ

村長 阿部政吉

政吉ハ代々村長タリ其先善兵衛ハ五泉町ニ居
住ニ当村開葎ノ後爰ニ移ル元和四年堀丹後守
領ノ時開葎ノ命ヲ蒙リテ其所藏ノ文書ニ詳
ナリ則チ下ニ記ス

元和四年ノ文書

以上

五泉所内中野村

新田不務花村人

陰后化於地

新田信之

新田信之... 養水... 新田信之... 新田信之...

河内

指生堂

牙人

下出

河内... 指生堂... 牙人... 下出...

大正八年

午

青古孫の品

出アテ名は来り

右文書中に見エハ榎花村今ハ阿賀野川ニ流シ
一軒残ハナリハ村ノ顔ハ所ニアテサレハ村ノ

念ニモウセリ

元和六年ノ文書

ハ

若く右ノ内中

新田ノ

村本加尾之海

河經水之海

折るて海

回白魚之海

右之者... 本新... 村...

下中乃台全

治牙之海

...

...

青島市

官廳森立

同深如

高升廟

Handwritten text in the left margin, including characters like 高, 升, 廟, 森, 立, 同, 深, 如, 青, 島, 市.

蒲原郡菅名庄 口上 郡内 菅名庄 菅名庄 菅名庄
大関村

柏崎陣屋ヨリ丑ノ方北四里十八丁余ニアリ東
西一丁三十間南北八丁斗戸數六十五軒向谷
トシカウ入四至八東八岡田村ハ四丁斗地界迄
一丁三十間斗西八小口村ハ五丁斗地界ハ能代
川岬迄九十間斗南ハ船越村ハ十五丁斗地界迄
六丁三十間余北ハ御料所飯柳村ハ七丁斗地界
ハ新發田領吉田新田ノ地所マテ七丁也間斗何
七丁北ハ岡茂ト云丁詳十丁入天正年間マテハ

菅名庄

菅名庄

菅名庄

城有三大園池七郎親憲親益親益カ男ト出ル人ノ後
北野軍談二目ニ居ハト云後枚原寺岐守カ葦子
部ノ字ヲ加リ
ト云今ハ水原慶安ニ丑年以後ハ領主ノ次子下
茶村ニ曰シ

能代川

村ノ兩端ニアリ中十四間斗川ノ次ハ榑橋村ニ
曰シナリト云ニ替セ入

橋ノ所

五泉往來作橋道ニ架ス字ト、ナキト

新田

云土橋ナリ長ハ二間中一間又新津往來道ニ架
水堀ニ架ス字江戸内ト云又一ヶ所字境橋ト云
架ニ板橋ニハ長短粗ト、ナキ橋ニ曰シ境橋ノ
修理ハ新發田領古田新田ト立会ニ掛ルナリ故
ニハ架アハカ

古田新江

村ヨリ巳午ノ方四十間余ニアリ

前田ナホ江

村ヨリ卯辰ノ方一丁ニアリ
林ニハ白銀江

村ヨリ子丑ノ間四丁四十間ニアリ以上共ニ下
茶江ノ分水ニナリ村ノ養水トナリ

ハニ端底楯

古川惣水ヲキノ在楯ナリ長廿六尺巾三尺

神明宮

社地東西廿二間
南北十三間三尺

村支配

村ノ内ニアリ初清禱ナリス鐘守ニナリ祭ハ月ノ

朔望及二十八日ナリ年々七月廿五日卯折所三

本本村ノ社人青木長門ノ大奉幣セリハ敷

社三間ニ二間堂葺云又一ノ向キ敷ナリ

赤木蘇天王社 社地東西五間
南北六間 國政様御内儀此道ニ

村ヨリ子丑ノ間三丁三十間斗ニナリ勸請詳ナ

リ又祭ハ二月六月十一月共ニ十五日ナリ奉幣

ハ奉八前社ニナリ

社二間ニ一三尺葺葺

社地東西十五間
南北五間三尺

曰上

村ヨリ子丑ノ間二丁三十間余ニナリ勸請詳ナ

リ又祭ハ毎月朔望及ニニ八日

社ナリ也

社地東西四
間南北五間

曰上

村ヨリ子丑ノ間二丁三十間斗ニナリ勸請詳ナ

テス祭日奉幣人事ハ前社同トシ
社 小社ナリ

諏訪社 社地東西十間
南北九間

村支那

村ノ南一丁三十間斗ニアリ勸請詳ナリ祭ハ
七月二十七日御科所橋田村修験末光院ニテ祭
式執行ス

地藏堂 境内東西五
間南北三間 村長 佐市兵衛持

村東内河アリ 鎮守神明宮ト云其ノ縁日七日正
四日祭開ニ其間月日年二十日正ニ奉神

堂 三回ニ一回盂蘭盆會本佛立像長六寸五分

作詳ナリ

城跡

村内ニアリ則チ村長佐市兵衛力屋敷地是ナリ

慶長年間コトハ上林家ノ支城ニシテ其旗下大同

元七郎親憲 大目騎向子
謀至カ子也 居ハト云後村原寺岐寺

憲家カ養子トナリ秋原常隆分ト号入度々ノ軍

功其志高シ或時景晴元ニ逢ハ一人ニシテ合津

一行軍勢盛隆ノ下ニシテ絲分テノ指物ヲシ度々

ノ高名アリテ右ノ里別ニ揚ハノ間アリテ再

心景晴ニ歸考メ又教受ノ切アリト云 親憲ノ傳
ハ此也

ヨリ本多能登守領慶安二丑年ヨリ松平大知守
領寛文七未年ヨリ榊原式部大輔領此比ニテハ
下新田ト唱来リシカ同八申年ヨリ下新村ト改
シ宝永元申年ヨリ本多吉十郎領同七寅年一ヶ
年脚料所正徳元卯年ヨリ当領トシテ当国宏船
郡村上ヨリ同国蒲原郡村松ト往還ナリ

阿賀野川

村ノ末五十四間斗ニ及ビ水源ハ陸奥上野ノ塚
小瀬峠ノ禁ヨリ出ル当国同郡万貫寺ノ上ニテ
東西ニ分ル所ノ角ハ込海領子廣島上酒屋村ニ
郎知行所

テ信濃川ニ合ス東ノ方ハ新茂田領松ヶ崎村ヨ
リ新潟湊ニ入川中五十間余トイヘトモ甚ク荒
川ニテ僅ノ雨ニモ水増テ川欠時々アレハ川中
一定ニ難シ村地前追々欠寄當時同役ノ脚普請
地ナリ

橋 六ヶ所

只ニ板橋ニテ下奈江ニ架ス五泉ハ往来ノ橋長
廿一間五尺巾一間村中通行橋長廿一間三尺巾
一間作場道橋四ヶ所一ハ長廿一間五尺巾一尺
五寸又長廿三間巾三尺五寸又長廿一間三尺又

長廿一間二尺五寸中二尺
豆田江

村ノ南二丁三十間余ニアリ下条江ノ流末ニテ
水ヲ以テ当村田所ニ溉リ

神明宮社北東西七間三尺 村支配

村ノ内ニアリ祭八月ノ朔望及ヒ二十八日ナリ

丑七年ニ一度ノ一回部立泉町ノ社人近藤加賀
奉幣シテ祭式ヲ執行スト云然氏定レハナリ
鳥居高才九尺二寸也

端村

田中

村ノ西四丁十間斗ニアリ東西二十八間斗南北
一丁斗戸敷七軒屋蓋ヒトシカニ入

板橋

下条江外水ニ加テス字蹟アケト云橋長廿五尺
五寸中三尺也下四橋長廿中略異同アリ

新田村

文中中榊原家領ノ時ヨリ市新村林改ヒト云下
 新村ト曰ヒリ村エヨリ村松ノノ街道ナカ不
 阿賀野川
 村ノ末端ニアリ年々出水ニテ園寄今屋敷際ニ
 至レ川ノ次弟ノ下新村同シト云々同ナ
 橋一ノ所
 村ノ内ニアリ下釜江ニ架テ長ク七尺中及至
 林ノ新平次江
 村ノ内南ノ下釜江ヲ分水シテ与村田所ニ概
 リ 蔵原候管下五
 五ノ上

蒲原郡管名庄 曰ニ

柏崎陣屋ヨリ丑ノ方廿四里十八丁余ニアリ東
 西三丁二十間計南北一丁四十間斗戸數四十二
 軒家ノ白脊均シカラ人四至ハ東ハ市新村ハ四
 丁斗西ハ御料所飯柳村ハ十六丁南ハ大園村ハ
 十三丁斗北ハ御料所上釜沢村ハ三丁斗北思ハ
 共ニ自他領地所ノ入支分明十ノ人開墾ノ年代ハ
 詳ナリ人慶安二丑年ヨリ以後領主次第下釜村
 高田山ノ下ノ所

高札場一ヶ所 村ノ内村長ノ前ニアリ
官ヨリ令セラルル 定条目ヲ掲ク
阿賀野川ノ次弟下新村ニ
村ノ東ニ下四十間余ニアリ川ノ
同ノ川ノ内橋ノ橋四ヶ所
共ニ板橋ニ以テ橋ノ下条江路ニ架ス共ニ長サ
六間一尺中五尺又同流分水ニ架ス長サ幅前橋
三間又同江路ニ架ス長サ一間三尺中心尺
瀬井堰

下条江ノ流末コトノリ当村ノ養水トモ流末
ハ端村堤ニアリ池ニ落ル下条村ニ詳ナリ
八里塚
村ノ北端ニアリ下条村ト曰ヒリ村上ヨリ村松
ハノ往來ヲ表ス

諏訪社社地東西四間南北五間 村支配
村ノ内ニアリ勸清詳ナリ又鎮守ナリ祭ハ二月
十六日木越村ノ社人大月豊前奉幣スト云
社二間ニ一間萱草
神明宮社地東西十二間南北十間 祭日又曰奉幣ス

村の内に入り勸請詳しう入祭日及日奉幣ノ事
 前社三間
 社六三間三二間
 鳥居高才一丈一尺二寸中九尺
 本村ヨリ亥子ノ間四丁斗三アリ東西一丁斗南
 北十八間計戸數十一軒向脊均シカラス
 八蔵林 稻荷 社地東西四間
南北三間
 下全取ノ意集
 別當不護福院末

端村 堤

村ノ南端ニアリ何レノ年勸請セルト云テ詳ナ
 社二間二一間三尺
 護福院 境内東西三十九
間南北二十五間
 村ノ南端ニアリ開基年代詳ナリ江州岩本飯
 道寺ノ末院ニニテ同回同郡寺社村本門院袈裟
 下ノ山伏ナリ
 居宅 三間三尺二十間蓋葺本尊不動明王木佛
 立像長一尺二寸阿弥陀如来木佛立像長一尺一
 寸共ニ供詳ナリ

界ハ境沢山ノカサヲ禁テ下ノカサ同慶
ノ年盛ハツマヒウカケテ下慶安以後領主ノ次
才下奈村ニ同レシ様山ノ林ノ下ノカサ
下ノカサ能代川ノ下ノカサ

村ヨリ東ノ方三丁斗ニアリ村地内五丁斗リ流
川中十二四間ハカク水源流来林ノ下ノカサ
来ノカサハ下ノカサ詳カクテカサノ下ノカサ
能代草水油ノ下ノカサ二十四里十八丁ニアリ

村ヨリ中ノ方三丁斗四十間斗ニアリ其湯イワ
コト最奈^{天智天皇七年ニ越后國}越后國
越后國ノ下ノカサ

村ノ薪土其所ノ字油入ト云溜ノ堤下ニアリ又
同溜ノ内ニ二ヶ所アレトモ七月下旬十月マテ
ハ油取ル其余ハ取ル下能ハス煮^下云モノア
リ御料所田家村ニアリ凡ク油ノ出人所ハ此
脈通^下ト云ハ煮坪ハ吾村ヨリ乾ノ方ニ當ル行
程十六丁當國七不思議ノ一ナリ右坪六角ニシ
テ直リ四間斗実暑ニモ増減ナリ地中ヨリ煮返
リ泡立ナリ正月十六日十七日十八日ハ煮返リ
ト云クヨクテ禁ル

塩坪

村ヨリ已ノ方三丁五十間ハカリニアリ坪直リ
七尺其中ヨリ塩出ルナリ海塩ニ比スレハ至テ
下ノ所ニ於テ其邊田所塩氣アリテ實ノ種ナ
リト云

橋ニテ所ニ於テ一丁也新ニ修メ

共ニ土橋ニテ山沢流末悪水垢ニ架ス字境沢橋

ト云長ク尺ニ一間三尺巾一間又回流ニ架ス字

橋沢橋ト云長ク尺ニ一間三尺巾一間新津ト至ル道

向テリ内ニ左ノ所アリテ尺ニ一間三尺巾一間

林ノ邊堂田溜ニ架ス

村ヨリ丑ノ方一丁余ニアリ長ク六十間斗巾

二十間斗廣狭均シカラス

境沢溜ニ架ス

村ヨリ亥子ノ間二丁余ニアリ長ク六十一間巾

十八間斗廣狭均カラス共ニ田所ノ養水トス

神明宮 社地東西七間 三尺南北八間 村支配

村中頃ニテ西ノ方ニ觀音山ニアリ勸請詳ナラ

ス祭ハ月ノ朔望及ヒ二十八日ナリ

社 小社ナリ

觀音堂 慶長末西二十間 南北十五間

村ヨリ西ノ方ニ山上ニアリ下条村大肝栗林十
郎石工門ノ祖先位十郎ト云者ノ安置スル所ニ
ノ年曆ハ詳テラズ録曰ハ七月十八日其日相撲
興行アリ参詣群聚ス
堂 三間ニ三間三尺萱葺本尊本佛立像長ク一
尺八寸葦澄ノ依ト云傳フ
石階 十六壇
二王門 三間三尺ニ二間一尺萱葺ニ王本佛立
像長ク三尺八寸
石階 十二壇

神明宮 三間ニ二間萱葺鎮守ナリ勸請詳テ

祭ハ月ノ朔望ト二十八日五三年ニ一度湯立
祭礼ナリ

鳥居 高ク一丈二尺巾一丈

若宮廟所 境目東西四
間南北五間 村支配

能代川ヨリ東ノ方五丁斗ニ字御神ト云所ニ

リ何レハ此ニヤ土人前ノ觀音山境内ヨリ祀ヲ

掘出セリ是ハ若宮ノ廟所ナリトテハ所ニ小堂

ヲ建立ス其後ハ地ヨリ太刀五十三振ヲ掘出し

又是モリノマヽ埋テ其所ニ石塔ヲ建テ然レモ

若言ハ何人カハナシ詳ニセズ
鐘 蹟

村ヨリ居己ノ方二丁余ニ
相所トナシ四方ノ間敷詳ナ
云年代事跡詳ナラズ

至正ノ間ニ
永徳ノ間ニ
隆徳ノ間ニ
中興ノ間ニ

筑前蒲原郡菅名庄
柏崎陣屋ニリ且ノ方二十
十間斗南北一丁余戸敷
西至八束八五泉所ハ六
八二御村ハ三丁斗地界
永七午年改丹後守領ノ
大治元午年改丹後守領ノ

時ヨリ萩曾根新田ト云ヒカ一ト時ヨリ萩曾根ト
改メト云

萩曾根川

村ヨリ西ノ方即科所土深村地界ニ流ル川中ニ
同斗廣狭内シ相テ水深ク葦水差ハ江下条江
ニ柳村ニ合流ス来ハ流者ハ能代川ニ合ス
十回カ橋六五ノ所ニ有リ
村内ニ有リ三ノ所ハ若ニ急水拂堀ニ架ス板橋ニ
ノ名長ハ一回ニ尺中四尺一ノ所ハ葦水ノ下条江
分流前架ス板橋ニ架ス一ノ所ハ一回中四尺又同

流ニ架ス長ハ一回ニ尺中四尺皆板橋ナリ

江筋一ノ所

村内ニ有リ五泉所ニ下条江ヲ分流ス葦水ト

諏訪社社地東西六
間南北五間

村支配

村ノ内ニ有リ勸請詳ナリ人年々七月二十一日
大田村修験福聚院奉幣ス祭ハ七月二十七日
社小社ナリ

時...
 此...
 本...
 二...
 大...
 城...
 八...
 敵...

身木蒲原郡管名庄

二柳村

柏崎陣屋ヨリ 丑ノ方二十四里余ニアリ 東西四
 十間斗南北二丁斗家居均シカウノ戸數十八軒
 西至八束八五泉町一十一丁二十間地界迄三丁
 二十間西八脚科所九田村一十五丁地界ハ能代
 村川際迄二十八間斗南ハ脚科所能代村一三丁
 余北界迄三丁北ハ蘇曾根村一三丁斗地界迄二
 丁四十間斗間葎ノ年代ハ詳ナクハ慶享以後領
 主ノ次子ト在村ニ曰シ

橋四ヶ所

一ヶ所ハ庄ノ江ニ架ス字カシラト云長リ
二間四尺中一間一ヶ所ハ養水 downstream 下条江分流ニ架
ス字マカリト云長キ一間二尺只ニ板橋ナリ
ヶ所ハ又庄ノ江ニ架ス字境橋ト云土橋ナリ長
ク四間中一間二尺橋ノ修理ハ脚料所能代付ト
只同大橋ノ中央ヲ限ルヶ所ハ下条江分流ニ
架ス長キ一間一尺中四尺依塙道ナリ

井堰

養水ハ下条村江筋ヲ分流ノ当村田所ニ溜リ

若宮権現社

社地東西十三間南北十間

村支配

村ヨリ丑寅ノ方一丁余ニアリ鎮守ナリ勸請詳
十ノ人年々正月十八日脚料所今泉村社家佐及
泉前奉幣ス祭ハ毎月十九日

社二間ニ三間萱葺

十王堂

境内東西七間余南北七間

日

村ヨリ丑ノ方二十間斗ニアリ

堂二間ニ三間萱葺本尊地藏本佛之像作詳テ

ラ入十五ノ像ハ今廢セリ

十七間同郡村松ヨリ右那郡村止一街道ナリ
同發ノ年代詳ナラズ慶長以行領主ノ次弟和下
奈村ニ同大室永七年ヨリ寛保元年ヨリ脚科所
同二年ヨリ其領以テ今ニテ奈村長ハ五泉
高北場一ヶ所ノ村ハ南ニカキ及リテ三十四間
官ヨリ令セラレ、控奈目ヲ掲ゲテ四至ハ奈
下奈南橋三ヶ所ノ村ハ三十四間ハ三棟ハ新林寺
其長立一間奈ニカ村松至五泉ノ道路橋ナリ
二ヶ所ハ養水江ニ架ス一ヶ所ハ十二ノ木江ニ
架ス奈十二ノ木橋ト云

十二ノ木江ハ高麗ハ新林寺ノ村ハ奈南橋
村ノ北ニ流ル又木越村子庄ノ江ヲ分流マ其ニ
当村ノ田所ニソノリ
一里塚
村ノ中程ニアリ南ハ村松領石曾根村迄一里北
ハ下奈村迄一里
八所権現社 社地東西三十間
南北十四間
社家 青木出羽
村ノ西ノ方ニアリ鎮守ナリ勸請詳ナラズ祭ハ
九月十五日 三年ニ一度湯立祭式ヲ執行ス

社具四間 = 二間萱葺
鳥居 高廿八尺巾七尺二寸
諏訪社 社地東西十五間南北十二間 別当長命寺
村ヨリ未申ノ方四丁斗ニアリ勸請詳ナリ
二月十七日湯立ノ例前社ニ同シ。社小社ナリ
長命寺 境内東西三十八間南北一里北
村ノ東ノ方ニアリ真言宗ニテ山号ヲ佛光山院
号外不空院ト云同基ハ詳ナリ萬治年間
搦地ノトキ除地大ニナリ傳ハタレバ其以前ヨ
リノ道端ナリ末元ハ高野山清淨心院ノ末寺ナ

旨

リシカ道路遙ニ隔リテ教至ルヲ得ナリハ村
松ノ圓正寺ノ末山トナシ享保年間マテハ長福
寺ト唱ヘケルカ其頃福ノ字ヲ詳ヘキヲアリテ
今ノ寺号トハナリ又
客殿 七間 = 四間萱葺本尊虚空藏木佛座像長
五寸春日ノ依ト云傳フ
庫裏 三間 = 二間三尺萱葺
十戸松
村ノ北一丁道ノ側ニアリ何ノ世ヨリノ樹ト云
下詳ナリナリトモ高サハ僅一丈二尺四方六間余

枝はこりし古松なり一ニス心合六同采
 土人ノ説ニハ松下ノユヲトリテ瘡ヲマムモ
 ノ、床下ニ置ケハ忽チ愈ユイハ其エヲ元
 氣ノ所ニ戻スト云フ是ヨリオオ松造リ来リテ
 其枝振ヲ直サントイ、ケレハ其夜村人ノ夢
 三枝桑可ハトハナカレト見テ其事ハ止リ
 村又是ヨリ其枝桑トハモノハ桑ヲアリト云テ
 幸保中松下ニ庚申縁ヲタリテ其下ノ行方
 縁ハ圓心若除茶山ノ下ニ置テ其下ノ行方
 中ノ下ノ行方ニ置テ其下ノ行方ニ置テ

七兵衛

七兵衛ハ母ハ孝養ヲ尽シ飲食ハ其好メルモノ
 シテ寒ヲ温メ暑ヲ涼クテ朝夕ノ起居ニモ心
 ヲ用テ累年怠リテレハ其母ハアリテ若クノ衰
 録ヲ撰フ時ニ寛政元年ナリ

免除地

長命寺

長命寺ハ其母ノ病ヲ癒セテ其母ノ命ヲ延ベテ
 其母ノ命ヲ延ベテ其母ノ命ヲ延ベテ其母ノ命ヲ延ベテ
 其母ノ命ヲ延ベテ其母ノ命ヲ延ベテ其母ノ命ヲ延ベテ
 其母ノ命ヲ延ベテ其母ノ命ヲ延ベテ其母ノ命ヲ延ベテ

村の七七丁斗地畧迄廿二丁斗南ハ村松領人木
越村ハ家統ナリ北ハ御料所泉田村ハ八丁斗地
畧ハ自他林地所入交ニ分明ナリ下奈村ト同
ク村上ヨリ村松ト往來ナリ同慶ノ年代ハ詳
ナラト忘安ノ次ヨリ上投家ト領同大具旗下本
庄越前守繁長初大具次部ト稱ス不知守房長カ
ニ又ニ一旌ノ小川新川等ハ心セシ討平
ケ印ナリ剛屋無ノ名アリ下文ハ三斗八日
十八日信州中島有戦ノ時モ十九日ニテ議信ノ
先鋒シ武田カ陣ナ食前ニスリリノ手細ノ不
マハ軍諸事ハ傳ハ此越前平屋ハト云慶長三成
年景勝討チ合津ハ移セ之時越前守モ奥列福島

へ移レリト夫ヨリ村上周防守領元和四年午三
リ堀丹後守領寛永十九廿兩年御料所ト十八三
保元中年是マデ西木越一村ナリシカ一年村ヲ
二ハニ裂テ当村ハ本多能登守領トナハシニ
以後領主ノ次弟下奈村ニ向シ
高札場一ヶ所 村ノ南端ニアリ
官ヨリ令セラル、旋住目ヲ掲リ

早出川

村ヨリ東十二丁三十間斗ニ流ハ水源依キ等々
コトハ既ニ見ハリリ当村ノ地ハ石砂多リシラ

舊所為
五泉の五五
ヨリ改むる泉
十一丁五丁五三

殊ニ逆流ナレハ時々瀨變テ川巾定カレテ下リ

橋七ヶ所

其ニ養水江ニ架ノ一ヶ所ハ土橋餘ハ皆板橋ナ

リ長サ二間内外中五尺斗ニ大ナリ之リ異同アリ

五泉村松往來ニテ其内ニ子大橋境橋ナトイフ

ルアリ

庄之堰

村ヨリ西村松領矢津脚科所川内西村ノ地先ニ

アリ早出川及ニ村松領滝谷村白山嶽ノ後山ヨ

リ出ハ夏針川ノ二流ヲ堰テ自他人村落五泉吉

沢寺沃二柳及々当村脚科所ニテ川瀨今泉泉田

町屋永津新村千原能代村松領マテ石曾根本田

屋宮之下木越村十六ヶ村ノ養水トス堰江筋修

理ノ時ハ村松領ノ山林ヨリ材木ヲ伐出シ人夫

江組ノ諸村ヨリ出ス

傳木杖

村ヨリ于五ノ方三丁余ニテリ東西五十間斗南

北百間斗前ニヨリ西木越村入會ニテ秣刈取人

縮着社

村ノ西端ニアリ勸請詳ナラス祭ハ二月初午

村支配

社三小社十リ

殿小路

村人内ニアリ村松領若宮村ニ城太郎城跡ト云
傳ハ所アリ一城ノ有レハハ当村モ武家住居セ
ト云フナレハ今ニ殿小路ノ名残リシト云
町表町裏ト云字モ有テ当村ヨリ若宮ノ間ニ
有レハ田所ノ字ヲ城ト云フ然レハ詳カレハ下
心傳ハ未テ入榎不レハニ城太郎ノ末ニ平城織部
平維茂ノ末ニ正家家家ト云レハ信幼ト云余五將軍
有レハカ後氣ニ取テ益退テ田信立ニ任テ勝
頼ト云テ奉任入城和泉寺ト云大改ノ役ニ物見
御与家ニ奉任入城和泉寺ト云大改ノ役ニ物見

定家

ア之リ改易ト蒙リ上州河井村ニ隱ハ異子宇兵
工牧野駿河守忠成ニ任テ其曾孫今アリ河井善
工ト云ト越後名大ノ間ニ
晴志ト書ニ見レリ大ノ間ニ

端村

見道

本村ノ西十五丁余ニアリ東西四十間斗南北三
十間斗家一軒

槁

養水江路ニ架ス小橋也

社北東西十間斗南北三
社北東西十間斗南北三
社家ニ大日豊前

村ノ内ニアリ勸請詳十丁ノ祭ハ三月三日
社木二回ニ一回萱葺

任向中村

本村ノ西十一丁四十間斗ニアリ東西十丁余南
北三十間余角敷六軒白脊均力ラヌ

橋三ヶ所

只・葦水江路ニ架ス小橋也

山王社

社地東西十間
南北九間余

社家 大日堂前

村ノ内ニアリ勸請詳十丁ノ祭ハ二月十七日

社 二間ニ一回三尺萱葺

城跡

村ノ西ニアリ在古中村某居ルト云事蹟年代詳

十丁又今回所ノ字ニ櫓下或ハ屋敷田ナト云所

ア下城跡モ一園ノ耕地ナリ八壇墟トモ見ワケ

カクシ

赤可也

本村ノ亥ノ方ニテ家鏡ナリ東西三丁斗軒北一
丁三十間斗戸敷十三軒重立均ニ力ラヌ

村三木例ナク清水
村休街ナク清水
ケシカク清水

村ノ口ニアリ清水壺巨リ七尺斗

橋ニ五所

共ニ養水江路ニ架ス一ノ間全ク中橋ナリ

作場道橋四ヶ所

共ニ養水江路ニ架ス一ヶ所分字大河依橋ナリ
長ク七尺中五尺ノ小橋ナリ三ヶ所長ニ長ク同

城ノ内ニ一ノ間道橋ナリ

稻荷社

社地東西三間余
南北三間三尺

村支配

村ノ南端ニアリ勸請詳ナリ祭ハ二月初午ノ
日其日社家大日豊前奉幣入湯立祭式執行アリ
社ニ二間三尺ニ一間萱草

神明宮

社地東西三間二尺
南北三間三尺

村ノ内ニアリ勸請詳ナリ祭ハ三月社人大日

豊前奉幣入祭日迄期ナシ五七年ニ一度湯立祭

式執行アリ

社一ノ間二尺ニ一間萱草

出戸

本村ヨリ申下方二丁西十間斗ニアリ東西四十
間斗南北一丁斗在敷六軒向省ヒトシカラス

養水江路ニ架又長中前村ノ諸橋ニ租同也

諏訪社社地東西二間南北三間村支配

村ノ内ニ下ノ勸請詳十ノ人正月二十六日社人

大日豊前奉幣湯立祭式ヲ執行ス祭海無難ナリ

社ノ内ニ二尺ニ一間量算

諏訪社社地東西二間南北三間村支配

奉涼詳

村ノ内ニ下ノ勸請詳幣湯立等ノ奉ハ前ノ諏訪

二尺

社 一間三尺ニ一間一尺量算

門後薬師舊地境山東西二十間南北十間

大日豊前持

村ヨリ申中ノ方ニ田ノ中央ニアリ何ノ代ニ

ヤ薬師堂ハ村松領ノ木越村端村門後村ニ移シ

今ハ口処ニ一枚一本ヲ裁ニ門後薬師ノ舊場ト云

門前

本村ヨ 町寛有方四丁四十間余ニアリ東西一丁

余南北三十間斗石致中軒屋並均シカラズ

南平稻荷社社代東西二間南北二間三尺村ノ支配

村ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

豊前祭式ヲ執行ス勸請詳夫ノノノノノノノノノ

社 一間二尺ニ一間量耳

社ノ内門外築積造社代東西二間南北二間三尺社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

社ノ東ノ端ニ下ノ祭ハ六月朔午ノ時社家大日

